

# JWA2022年度 9月 月例理事会 議事録

2022年9月15日(木曜日) 19:00～ GoogleMeet

出席者 会長：川添 雄彦  
理事長：石原 智央  
理事：生駒 大輔/國枝 信哉/鈴木 智彦/豊岡 美枝  
三澤 文良/宮野 幹弘/小林大悟 (学連代表)  
永田 絹子(書記) (敬称略 五十音順)

## 【報告】

### 1) 一般社団に向けての承認事項

一般社団の定款に入っている役員に関する件にて  
承認事項議事録を作成し今月中に承認が必要(のち提出予定)  
2023年度4月より正式に新しい団体としてスタートできるよう準備中

### 2) 検定を実施した報告

9月3日(土)津久井浜にて検定会を開催  
通常のバッジテスト4級3級の検定、プレーニングジャイブ検定を行った。  
検定内容の10項目を一瞬で見ることは難しく困難であった。  
検定会を開催するなら、検定員の育成をしないといけない。  
トレーニングを行い検定員の資格を与える制度を構築する。  
検定後に受けた人に検定結果をすぐにフィードバックできるシステムを  
構築し作り上げていく事が課題である。

実際に受けた方々の感想は、  
レースに出場するメンバーではなく緊張していた事もあり、疲労困憊していた。  
ただ、充実している感じもあり、今後検定が1つの目標になると思う。  
受ける方々にとっては、やりがいがいたり継続性を感じてもらえた。  
今後はすべてを撮影する事を考え、次回からは撮影できるように準備する。  
検定の結果は後日、撮影した動画を見ながら正確に判断する方が良い。

### 3) 九州学連との交流予算について(学連代表者)

開催の内容としては、関東と関西の繋がりは強く技術的にも向上し合っているが、  
今後は九州学連と交流を深めていきたいと思っている。  
九州では、技術のノウハウを教えたり、一緒に走って練習をしたりという事で  
交流を深め、プラクティスレースを行う予定。

### 学連の中での問題として

学生がすぐにやめてしまう理由に、お金が続かない事がある。  
乗り始めのまだ辛い時に、楽しくなる前にやめてしまう人が多い。  
今後の課題として、そういう人にとっても救済の仕組みを考えている。

スポーツ省がスポーツ産業を大きくしていく中で予算を大きくとって、  
若い人たちがより多く取り組めるように、協会側がこういう事を調べて  
若い世代に奨学金なり補助なりと考えていくべきである。

今できる事としては、イントラの派遣などの要望が現実的である。  
学連の中での現状(技術や資金面など)の詳細を調べてほしい。

学連の艇種でもあるセイルサイズが大きすぎる事が問題でもある。  
始めたばかりの学生も、体の小さい女子も7.8㎡から始まる事が辛いはず。  
例えば、レディースは6.8㎡に規定を変える事もひとつの問題解決に近づく。  
使用セイルを増やすという事ではなく、規定を変更し男女で分ける方法。

#### 4) ビブスの件

前回報告したビブスに関しては、現在、早急に確認検討中。  
今後、検定などでも使用できるよう検討中。

### 【議 事】

#### 1) 一般社団の組織体制

自発的に動ける若いやる気のある理事及び職員を起用したいと思う。  
今後、気持ちのある、変えていきたいと思うウインドサーフィンを  
普及していきたい選手や関係者を集めていく。  
一般社団法人になるにあたって、  
若いやる気のある、自発的に動ける理事、委員長や部長などの人選を行う。  
自分たちで自発的に動ける団体に変えていきたいと思っている。

自発的に進んで行動できる人が集まるのが良い。  
大きな事を考えるだけではなく、実際に行動する事で、目に見えて変わる事。  
まずは動く事が大事。ただ、今あるツアーなど形がある物を守っている状況でも  
あり、新しい事に手を広げられないが、今ある物も継続していく事も大切である。  
今後は進んで行動してもらえる人が集まり、その各部の集合体で成立つ団体  
になれば、各々の活動が伴う事で委員会や組織の形になれば良いと思う。

若い力はとても大切であり、これからを改革していくと信じている。  
ただ、暴走する可能性も高く、社会経験なく、人それぞれの常識が違う事が  
あってもおかしくない世の中で、STOPをかける人、フォローする人がいたり  
する形の中で、手放しではなく、見守っている年長者や経験者がいる中で  
若者達に動いてもらい、そこで淘汰していった物を再度考慮し形にしていく為  
に育てて継続していく事が大切なのではと思う。

強く意識して欲しいのは、  
立案して実行する職員と最終的に判断し責任を持って決定する理事は  
明確に分けないといけない。  
理事としての素質と職員としての素質は違うので、自分はどっちの立場が  
良いかをしっかり考えてもらう。

### 【その他】

#### 1) ウイングに関する件

ルールに関しては、誰が使っても良い状態になっている。  
9/3-4の浜名湖での大会では、運営へのクレームがすごかった。  
担当者へ伝え、運営に関する事を伝えておく。

2) 協会HPの件

会員さんからHPが見づらいとのご意見。  
パソコンではなくスマホで閲覧する方が多く、確認したい情報を見つける事ができないとのご意見。  
今後の為にも、予算を組んで改善して欲しい。

3) HP上の更新に関する件

セイルナンバーの変更や更新がされていない。  
議事録に関しては、  
開催から1週間までに議事録作成。作成後、承認依頼する。  
HPへの公開は理事会から2週間以内(担当理事が担当者へ依頼)

4) 11月開催のワールドカップの日本人選手のエントリーの方式について

情報を9/16以降にオープン。  
学生、ジュニア会員を除く会員の方々には  
HPに内容を掲載し、確認して頂く旨のメールを送信する。  
10/13記者会見があり、  
川添会長、工藤輝選手、鈴木文子選手が記者会見に同席する。

議事録内容確認署名

議事録確認理事長:石原 智央

理事①:豊岡 美枝

理事②:生駒大輔